

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリアの賑わい創出に向けて覚書を締結

「登戸・遊園 ミライノバ」の取組を開始します！

川崎市と小田急電鉄株式会社（以下、小田急電鉄）は、包括連携協定に基づき、沿線の価値向上に向けて令和3年3月に「小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン」（以下、まちづくりビジョン）を策定し、第1弾プロジェクトとして、MaaS アプリ「EMot」を活用した「生田緑地おでかけチケット」を発売しているところです。

この度、まちづくりビジョンの第2弾プロジェクトとして、賑わい空間の創出に向けて、登戸土地区画整理事業において道路や宅地として使用を開始していない市の管理用地等を活用した取組「登戸・遊園 ミライノバ」を連携・協力して推進していきます。

つきましては、本取組の開始にあたり、「登戸土地区画整理事業の管理用地を活用したまちづくりへの連携・協力に関する覚書」（以下、覚書）を本日付けで締結するとともに、今後は関係企業・団体、地域の方々や共創いただけるパートナーなどと一緒に取組を進めていきます。

1 覚書における連携・協力事項

- (1) イベントの開催など、賑わいや交流等の創出に関すること
- (2) 地域の関係者等との協業に関すること
- (3) 対象地域の将来的なまちづくりの検討に関すること など

2 「登戸・遊園 ミライノバ」の取組概要（詳細は別紙1、2参照）

- ・市の管理用地や小田急電鉄用地を実験的に活用しながら、定期的にキッチンカー等が出店する『イツモの日』と、地域の方々や共創パートナー等がイベントを行う『ハレの日』の取組を通じて、まちの賑わいづくりに取り組みます。
- ・『イツモの日』では、当エリアへのテナント出店に興味をもつキッチンカー等の事業者の誘致を行うほか、キッチンカー等の購買データを一般公開するなどにより、当エリアへのテナント出店につながる取組を実施します。
- ・各取組の詳細については、随時SNS等で情報発信し、同エリアに関係する企業・団体や地域の方々や共創いただけるパートナーと一緒に「登戸・遊園 ミライノバ」の取組を推進します。協業等をご希望の方は、以下のメールアドレスまでお問合せください。

登戸・遊園 ミライノバ事務局（ミライノバ ベース）[E-mail:info-mirainoba@odakyu-dentetsu.co.jp](mailto:info-mirainoba@odakyu-dentetsu.co.jp)

1 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の現状、課題

- (1) 現状
- 登戸土地区画整理事業は、現在、仮換地指定率が約94%（令和3年4月1日時点）となり、令和7年度の事業完了に向け、都市基盤を整備するフェーズから、まちに賑わいを創出するという、まちづくりのフェーズに移行しつつある。
 - 事業の進捗に伴い、暫定的に利用が可能な市の管理用地（1画地200～300㎡程度）が複数生まれている。
 - 登戸駅の乗降者数は小田急線とJR南武線それぞれ約16万人以上であるものの、乗り換え客が多く、駅から街に人が降りていかない。
 - まちづくりに関わる多様なステークホルダーが目指すべきまちの将来像を共有し、まちの価値向上につなげていくための基本的な指針として、現在、「登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区まちづくりビジョン」を策定中。
 - 小田急電鉄㈱と川崎市は、包括連携協定に基づき、沿線の価値向上や持続可能な社会の構築に向けた取組を推進するため、令和3年3月に「小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン」をとりまとめ、「魅力ある賑わい空間の創出」を推進テーマの一つとして位置付けた。
- (2) 課題
- まちが大きく変わっている状況やコロナ禍の影響等により、安定的な収益が期待できるチェーン店や医療系など、テナントに偏りが発生しており、バランスのとれたまちの賑わいづくりに向け、地元商店街や地域の方々に加え、新たなプレイヤーの発掘が必要。

2 本取組の方向性

本地区の現状、課題等を踏まえ、以下の方向性で取組を進める。 写真：まちの賑いづくりイメージ

1

まちの賑わいづくりの取組

・市の管理用地などを暫定的に活用しながら、キッチンカーの出店などまちの賑わいづくりに向けた実験的取組を行う。

2

テナント出店に繋がる取組

・バランスのとれたまちづくりに向け、販売実績データを公開するなどにより、当該エリアへの本格出店につながる取組を実施。

3

地域や共創パートナー等を巻き込んだ取組

・持続可能な取組となるよう、基幹事業者と市が連携・協力しながら取組を進めるとともに、関係企業・団体、地域の方々や共創パートナーなどを徐々に増やし巻き込みながら、取組を推進していく。

3 本取組の事業スキーム等

(1) 事業スキーム

小田急沿線川崎エリアまちづくりビジョン等に基づき沿線の価値向上に向けた取組を進めている小田急電鉄㈱と連携・協力関係を構築する。

①「登戸土地区画整理事業の管理用地を活用したまちづくりへの連携・協力に関する覚書」の締結

(連携・協力事項)

1. イベントの開催など、賑わいや交流等の創出に関すること
2. 地域の関係者等との協業に関すること
3. 対象地域の将来的なまちづくりの検討に関すること
4. その他、甲乙の連携・協力による取組が必要と認められること

(有効期間)

・覚書の有効期間は、本覚書締結の日から事業が完了するまで

甲：川崎市 乙：小田急電鉄株式会社

② 体制・枠組み

名称	役割
小田急電鉄	・取組の全体企画・運営等の <u>プロデューサー</u> （基幹事業者）
川崎市	・管理用地を <u>無償で一時使用</u> （取扱要領に基づく。使用者は維持管理等を担う） ・まちづくりに関する <u>PR広報</u> 等
地元商店会やNPO等地域団体	・個別の取組に <u>コンテンツとして参加</u>

図 体制・枠組みイメージ

(2) 今後の進め方

- 当面、小田急電鉄を中心に地域団体等と連携して取り組むこととするが、令和7年度の事業完了時には、地域団体等が将来的な主体となり、自律的な取組となっていることを目指す。
- 実験的取組の期間は、ある程度の期間（約5年程度）とし、3つのフェーズ（共育期間→移行期間→自律期間）を設定して推進する。

フェーズ1：共育期間

フェーズ2：移行期間

フェーズ3：自律期間

実験的取組期間（5年間想定）

取組継続

図：進め方イメージ

★区画整理事業 完了予定

(3) 実験的取組期間（令和3～7年度：5年間）の取組内容イメージ

内容1：定期的にまちを「つかう」取組を実施

・民間の取組プレイヤーによる各種アクティビティ（活動）を定期的に実施することで、まちを「つかう」ことを習慣づける。

内容2：メリハリのある『日常（いつもの日）と非日常（ハレの日）』の取組を実施

・「いつもの日」：移動型遊具や移動型店舗（キッチンカー等）の出店
・「ハレの日」：数ヶ月に1回程度、地元商店会や小田急電鉄が先導するイベント（鉄道やスポーツ、食などのテーマを設ける）を想定。

内容3：購買ニーズ等を公開する取組を実施

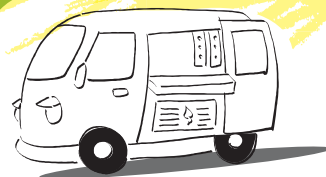
・テナント用途のベストミックスを実現するため、移動型店舗の購買情報等を取得、公開し、テナントの出店のインセンティブとする。

内容4：自律的な取組の実現に向けて地域団体等と基幹事業者で連携した取組を実施

・地域団体等が自ら企画、運営等を行うノウハウを習得するとともに、取組プレイヤーなどの人との繋がりや交流のきっかけを創出。

登戸・遊園 ミライノバ プロジェクトスタート

7/9 Fri.
START!!



NEWS

ミライノバの取組を開始!!! (~令和7年度予定)
共創パートナー等を募集します!!



ミライノバでは様々なパートナーなどと共創していきます。
最新情報は随時 SNS 等で発信します。
お楽しみに!



“ミライノバ”で
街の未来をつくる

区画整理が進み、道が整いつつある登戸・向ヶ丘遊園駅周辺は、
まちの賑わいを創出するステップへ。

ミライノバとは、区画整理事業で生まれた空き地（市管理用地等）を活用しながら、
イツモの日=日常 と **ハレの日=非日常** の取組を通じて、
まちの賑わいづくりやテナント出店につなげるプロジェクトのことで。

この度、「イツモの日」の取組第1弾として、登戸駅前に魅力あふれる
移動型店舗の出店を開始します。

今後も、賑わいや交流等の創出に向け、同工エリアの関係企業・団体、
地域の方々や共創いただけるパートナーなどと一緒に取組を推進していきます。

今後の協業・共創パートナーを募集中!

〔連絡先〕小田急電鉄（株） 登戸・遊園ミライノバース（事務局）
✉ info-mirainoba@odakyu-dentetsu.co.jp



詳しくは SNS にアクセス!
[@info_mirainoba] で検索

Q.
イツモの日って?

日常的な賑わいづくりに向けた取組のこと。
空き地等に、暫定的な出店として移動型店舗を誘い、呼び込みます。
また、新たな建物へのテナント出店につながるよう、
購買データの取得も行い、公開していきます。
様々なお店と協業予定ですので、お楽しみに!

第1弾で出店する店舗業態等

- ★ Hawaiian Restaurant,
- Grill Cheese Sand,
- ★ Moving Book Store,



令和3年7月の出店予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※出店予定が変更になることがあります。
最新情報は SNS 等でご確認ください。

Q.
ハレの日って?

特別な日（非日常）の賑わい
づくりに向けた取組のこと。
年に数回、地域の方々などと
空き地等でイベントを開催します。
（今年は秋に開催予定）



ソウルフルなビフテキライスや
ボリュームあつあつサンドに
舌鼓をうつたり、
新たな知識を得られる様々な本に
出合えたりと、
ぜひ新たな
お店を体感
してください!

